

### 第3回 意見シート【今回の会議で伝えきれなかったこと】

### 資料6

■今回の会議で伝えきれなかったこと	事務局（回答）
<p>【こどもWEBアンケートと相談先への連絡方法】</p> <p>・こどもWEBアンケートの匿名に疑問を持ち「名前を書きたい人もいないのかな」と言っていました。誰が答えたかわからないと助けてもらえないから、とのことでした。大人側としてはプライバシー保護のため、と思うけど、低学年だと「自分だと知ってほしい」と思う子もいるのかなと感じました。</p> <p>・自分のスマホやPCを持っていない子はどうやってこのような相談先に連絡をとるのだろうと疑問を持ちました。手段がない子どもが埋もれているのではないかと思います。</p>	<p>今回のアンケートは個人を特定対応をすることを目的に実施するものではなく、普段のように感じながら暮らしているのかを状況把握するために実施しました。</p> <p>こどもの相談先への連絡手段については、次回会議の重点議題②「こどもの相談と救済機関の設置」において、検討させていただきます。</p>
<p>【こどもワークショップ】</p> <p>・参加者募集チラシを見て、こどもに向けてではなく保護者向けであり、こどもにとってわかりにくく、興味関心をそそられないと感じた。漢字にルビもなく小学生は読めない可能性があり、こどもっぽい挿絵は今のこどもには好まれない、さらに、開催場所がこどもにとって身近でない知らない所では実際こどもだけでは参加できず、保護者の送迎を必要とされており日程も日曜日だけ、休日は保護者も忙しく動きづらい。「こどもの声をきかせて」と言っている割に、おとな目線で横柄で配慮に欠け、こどもにとっては参加のハードルがとても高いと感じた。本気で子ども参加を望むなら、もっとこどもだけでも行けるような場所、例えば小学校の空き教室を利用した地域拠点「みなよる」での開催を考えたり、学校でのチラシ配布の際には「一緒にこども条例をつくろう!」というような呼びかけやこどもへの丁寧な説明など工夫が必要だと思う。こども参加にはこども目線に立ったこちらの本気度が問われているような気がする。</p>	<p>今後、様々な取組を進めていく際に、ご意見を参考にさせていただき、こどもにとって魅力ある企画を検討します。</p>
<p>【こどもワークショップ代替案】</p> <p>・小中学生の集う場所に向くアウトリーチは賛成だが、インタビュー案のQ子どもの権利条約クイズ1. 2. 3は学習しないと答えられないテストのようで好ましくないと思う。例えば「子どもには遊ぶ権利や休む権利はあるでしょうか?」など具体的な○×クイズや、「あなたがほしいと思う権利に○をつけて下さい。1. 差別されない権利 2. 意見を言う権利、話をきいてもらう権利 3. おとなから暴力や暴言をされない権利 4. こどもにとって1番良いことは何かを考えてくれる権利 5. その他( )」などや、「こどもが幸せになるために、おとなに望むことは何ですか?」など、こどもの思いや意見につながるようなインタビューをお願いしたい。</p> <p>・小中学生の集う場所として児童館、トピックとのことですが、地域が限定的なので、加えてエコールロゼ(ゲームセンターや2月16日のひろとんイベント)、すばるホールのプラネタリウム(12月14日JAXAの先生がすばるホールにやってくる!小4~中学生無料150名)など、子どもの集まるイベントなどでのインタビューも考えてはいかがでしょうか?</p>	<p>第3回委員会でいただいたご意見をふまえ、アウトリーチ形式で実施予定です。アウトリーチで実施する際には、こどもの思いや意見につながる内容、場所もこどもが集まりやすい場所での実施を検討させていただきます。</p> <p>いただいたご意見は、今後様々な取組を進めていく際に、参考にします。</p>
<p>【こどもの定義】</p> <p>・こどもの定義として、こども基本法やこどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律のように、年齢で区切らない表現にしていきたい。</p>	<p>第3回委員会のワークショップでいただいたご意見等を踏まえながら、検討させていただきます。</p>